

# 全国市長会会報

第 645 号 平成 14 年 8 月 15 日

全国市長会調査広報部

〒102-8635

東京都千代田区平河町 2-4-2

TEL03-3262-2316 FAX03-3263-5483

ホームページ <http://www.mayors.or.jp/>

## 目 次

### 会のうごき

#### 諸会議の経過

全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会正副会長会議 1

全国基地関係協議会幹事会 2

#### 要望・陳情等

高速道路等の整備に関する意見を提出 2

### 地方六団体のうごき

高速道路建設推進議員連盟と地方六団体との合同会議 4

市長の選挙 4

市長の退任 5

速報の発行 5

行事予定 5

訂正のお願い 5

---

### 会のうごき

#### 諸会議の経過

##### 全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会正副会長会議

全国基地協議会（会長・沢田横須賀市長）及び防衛施設周辺整備全国協議会（会長・東川千歳市長）は、7月25日、26日の両日、大分県玖珠町において合同の正副会長会議を開催した。

両協議会会長並びに開催地の小林玖珠町長のあいさつに続いて、来賓の総務省及び防衛施設庁から平成15年度基地関係予算概算要求をめぐる状況等の説明を含めたあいさつがあった。続いて、事務報告についてこれを了承するとともに、玖珠町の基地対策の概況等について説明を聴取し、意見交換を行った。

次いで、平成 15 年度基地関係予算対策等、今後の運営について協議した。

また、玖珠駐屯地及び基地周辺対策に係る諸事業等の行政視察を行った。

(担当：社会文教部)

---

### 全国基地関係協議会幹事会

全国基地協議会（会長・沢田横須賀市長）及び防衛施設周辺整備全国協議会（会長・東川千歳市長）は、8月1日、2日の両日、綾瀬市において幹事会を開催した。

会議では、代表幹事の江指横須賀市基地対策課長及び開催地の見上綾瀬市長あいさつの後、総務省及び防衛施設庁から平成 15 年度基地関係予算の動向について説明を聴取するとともに、質疑応答を行った。

次いで、事務報告及び今後の運営についてこれを了承した後、綾瀬市の基地対策の概況等について説明を聴取するとともに、厚木基地をはじめ、同市の基地周辺対策に係る諸事業等の行政視察を行った。

(担当：社会文教部)

---

### 要望・陳情等

#### 高速道路等の整備に関する意見を提出

道路関係四公団の新たな組織やその採算性の確保について調査審議している「道路関係四公団民営化推進委員会」に対し、本会は、8月9日、「高速道路等の整備に関する意見」を提出した。

(別記)

#### 高速道路等の整備に関する意見

平成 14 年 8 月

全国市長会

本会において、道路政策全般について都市自治体に意見を求めたところ、高速道路や有料道路に関する意見が多数寄せられた。

このことは、現在、国において進められている道路関係四公団の新たな組織やその採算性の確保についての調査審議に対して、都市自治体が大きな関心を寄せており、その方向に危惧を抱いている現われであると考えます。

本会では、これらの意見を基に、現段階での考え方を次のとおり表明する。

今後とも、必要に応じ、さらに意見を申し述べていく考えである。

#### 1. 地方の意見の反映について

高速道路等の整備水準は、地域によって大きな開きがあることから、道路関係四

公団民営化推進委員会における検討に際しては、大都市在住者の意見ばかりでなく、地方の意見を真摯に聞くとともに、その意見を反映させることが重要である。

## 2．高速道路等の整備促進について

高速道路等の整備の必要性については、都市自治体から次のような意見がある。

高速道路等は、広域物流や地域間の交流・連携に大きな役割を果たすものであり、それぞれの都市が、その地域の自然、歴史、文化等の地域資源を活用し、活性化を図る上で極めて重要な社会経済基盤である。

また、都市間競争・地域間競争の時代といわれるが、高速道路等はその競争の前提として各地域に整備しなければならない基礎的な社会インフラである。高速道路ネットワークの整備がなされなければ、地方都市の命脈を絶つことにもなりかねず、地域間格差がさらに拡大することになる。

高速道路等は、ネットワークを形成してこそ本来の機能を発揮できるものであるが、未だ欠落区間があり、十分機能していない状況にあるため、その整備促進が必要である。

地方には、災害の発生等によって交通の分断が懸念される地域も未だ少なくなく、高速道路等は緊急輸送路・避難路として必要であるとともに、高次医療機関へのアクセスなど救急活動の円滑化にとっても不可欠なものである。

地方には、公共交通機関が未発達で、生活を自動車交通に依存している地域も多く存在しているが、これら地域においては、高速道路等は地域住民にとって必要不可欠な生活基盤である。

高速道路等が整備されれば、通過交通など一般道路の交通が減少するため、多大な経済的損失や生活環境の悪化を招いている渋滞の緩和が図られるとともに、交通事故の減少に大きく貢献する。

各地域は、計画路線が整備されることを前提にまちづくりを行ってきたところであり、仮に計画が変更され、高速道路等の整備がなされなければ、多大な影響が生じることとなる。

上記で述べたように、今後とも高速道路等の整備は必要であり、単に採算性の問題だけで論じることができないものである。

したがって、国の責任において、11,520kmの高速自動車国道ネットワークの整備を積極的に推進し、早期に完成させることが必要である。

## 3．高速道路等の整備財源について

高速道路の整備にあたっては、全国料金プール制を活用し、その早期完成を期することが必要である。

また、高速道路は、国土政策上の観点から、国の責任において整備すべきもので

あり、その整備や公団が抱える債務超過の解消に際して、地方に新たな負担を求めるべきではない。

なお、高速道路等は生活道路としても利用されていることから、利用しやすい多様な料金体系を導入することも必要である。

#### 4. 道路特定財源について

道路特定財源については、地方における道路整備率が低いことや、生活者重視の施策の展開等のため、道路整備費は今後とも大きな需要が見込まれるところであり、こうした地域のニーズを十分勘案し、それに対応できるよう存続させるべきである。

特に、市町村道の整備水準及び市町村道に係る特定財源比率は、国に比べ依然として低い状況であることから、自動車重量譲与税等の市町村への配分割合を引き上げるなど、市町村道路財源の充実強化を図ることが必要である。

(担当：経済部)

---

### 地方六団体のうごき

#### 高速道路建設推進議員連盟と地方六団体との合同会議

高速道路建設推進議員連盟（会長・村岡兼造衆議院議員）と地方六団体との合同会議を、8月9日、第二議員会館内の会議室において開催した。

合同会議では各団体の代表者が意見表明を行い、本会からは加古三木市長が高速道路の必要性などについて意見表明を行った。同会議には、河野深川市長、鈴木気仙沼市長、松浦高崎市長、宮城島清水市長、藤田宇部市長、石橋宇和島市長、福島唐津市長が出席した。

(担当：経済部)

---

### 市長の選挙

(選挙日)	(市名)	(市長名)	(当選回数)
8月4日	福島県白河市	なるい ひでお 成井英夫	新任(8月28日就任)
8月4日	静岡県静岡市	小嶋善吉	三選
8月4日	静岡県磐田市	鈴木望	再選
8月11日	宮城県多賀城市	鈴木和夫	三選
8月11日	大分県佐伯市	小野和秀	再選

(担当：総務部)

## 市長の退任

(退任日)	(市名)	(市長名)
8月2日	埼玉県熊谷市	小林 一夫
8月5日	大阪府四條畷市	森本 稔

(担当：総務部)

## 速報の発行

7月30日 (第4号) 平成14年度普通交付税大綱等の送付について

(担当：総務部)

## 行事予定

月日	時間	会議名	所管	場所
8月16日 ~27日		米国・カナダ都市行政調査団	調査広報部	
8月27日 ~28日		平成14年度人事管理研修会	行政部	砂防会館別館 シェンバツハ・サボ-
9月5日	15:00	税源移譲等都市財政基盤確 立プロジェクトチーム第3回会議	財政部	全国都市会館 第2会議室
9月10日	13:00	欧州都市行政調査団事前打 合せ会	調査広報部	全国都市会館 第2会議室

(担当：企画調整室)

## 訂正のお願い

7月25日付で送付いたしました「役員名簿等一覧(平成14年7月19日現在)」に記載漏れがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり追加して頂きますようお願いいたします。

(太字が追加部分)

17ページ 財政委員会 委員市長  
**顧問 春日井市長 鵜飼一郎**  
(副委員長と委員の間に追加)

56ページ 愛知県春日井の委員会欄 **財 | 顧**

70ページ 愛媛県東予の協議会等会長欄

(担当：企画調整室)

「会報」の情報は全国市長会のホームページ(メンバーズページ)でもご覧いただけます。